



認知症ポジティブって???

2017年度全国認知症グループ社会福祉事業推進事業

本人 **みんな**
家族 **幸せに**
介護スタッフ **なろう!**

認知症
ポジティブ!

認知症のポジティブケアについて学び研究です。
認知症ケアの専門職の方であれば、どなたでもご参加いただけます。

日時：平成30年7月28日(土) 18時~20時(17時30分)

会場：北九州市総合保健福祉センター 2階 講堂
(北九州市小倉北区馬借1-7-1)

講師：山口 晴保氏(認知症介護研究・研修東京センター・センター長)

【講師略歴】
認知症介護研究・研修東京センター・センター長/医師。
1976年に群馬大学医学部を卒業後、群馬大学大学院博士課程修了(医学博士)。2016年9月まで群馬大学大学院保健学研究科教授を務めた。専門は認知症の医療(日本認知症学会専門医)やリハビリテーション医学(日本リハビリテーション医学会専門医)。脳卒中とリハビリテーションをテーマに30年におわたって基礎研究を続けてきたが、その後、臨床研究に軸を置き、認知症の臨床医療、認知症の脳活性化リハビリテーション、認知症予防などにも取り組んでいる。

対象：認知症ケアを行う専門職(医療・介護等の職種は問いません)

定員：100名(先着順)/申込み切：7月20日(金)
要領の申込用紙で、FAXにてお申し込みください。
(参加をお断りする場合は、ご連絡いたします)

参加無料

主催 北九州市認知症支援推進員会 /北九州市保健福祉局	お問い合わせ/お申し込み 北九州市認知症支援・介護予防センター TEL.093-522-8765/FAX093-522-8773
-----------------------------------	--



認知症介護研究・研修東京センター長 山口晴保氏

前向きに受け止める!

「認知症は、なったらダメ、なったら終わりじゃないよ。」「どうしたらみんなが幸せになれるのか、一緒に考えましょうよ。」「これは認知症に関わる全ての人が求めている言葉ではないでしょうか?先日、認知症介護研究・研修東京センター長の山口晴保先生を講師にお迎えして、認知症のポジティブケアについて専門職の皆さんが学びました。

生活管理「電話・旅行・運転・内服・金銭管理等」は症状の進行とともにできなくなりますが、また、行動・心理症状(BPSD)と呼ばれる「本人にそう行動する理由はあるけれど、周りからは困り事」

「認知症は長生きの勲章」「認知症になれるまで長生きできてよかつた」と前向きに受け止めることが「認知症ポジティブ」です。

認知症介護研究・研修東京センターは「認知症があってもなくても、家庭や地域での生活、施設での毎日の中でたくさん起きています。きちんと症状と向き合うことは、本当に大変なことですが、「自分もなる」前提で考えられるようになる」と、「そうする理由」に思いがいき、かなりの割合で困った症状をなくすことができます。

認知症は、長生きの勲章なんだ!

認知症の人の98%は高齢者。「認知症は長生きの勲章」「認知症になれるまで長生きできてよかつた」と前向きに受け止めることが「認知症ポジティブ」です。

認知症介護研究・研修東京センターは「認知症があってもなくても、

も持てるチカラを發揮して他者に役立つ社会」を目指しているとのこと。役割を持つてみんながいきいきと充実した長寿を生きる!一人ひとりの理解がちよつと進めば、実現に近づきます。

北九州市内でも、熱心な地域や老人会の方々から「現実の場面での認知症の方への対応を学びたい」という依頼を頂くことが増えて参りました。「自分事」として考え始めて下さっていることを、とても嬉しく受け止めています。

今回の研修会運営のお世話をして下さった「北九州市認知症介護指導者会」の皆さん、ありがとうございました。

【中村】



小さな図書館コーナー
今月おすすめの1冊

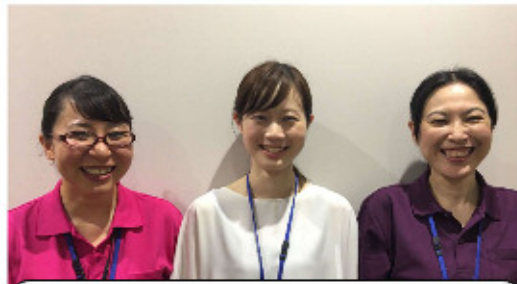


「母が若年性アルツハイマーになりました」
Nicco 著

こちらは「ぼ～れば～れ千葉県支部版 家族の会千葉県の通信」に掲載されていたもので、イラストレーターであり娘のNiccoさんがアルツハイマー病になった母の18年におよぶ記録を元に書籍化されたものです。認知症になった母を受け入れるまでの葛藤や苦悩、母の気持ちに気づくとき・・・。介護をする側として共感できることが多々ある内容だと思います。漫画形式なので読みやすいですよ。【松岡】

こんにちは！ 地域支援コーディネーターです④

地域の見守りや支えあいを強化する目的で、各区に「地域支援コーディネーター」が配置されています。お気軽に声を掛けて下さい。今月は八幡西区担当を紹介します。



きただまかろ 北田貴子 ひかしともみ 東知美 ひらもとなほ 橋本奈保
(敬称略)

暑い日が続いておりましたが、八幡西区では暑さに負けず地域のために日々ご尽力されている活動者の皆さんを、3人で協力しながらサポートしています。



今月のカフェ・オレンジ ～「カフェマスター研修会」スタート！



7月23日から「第一期カフェ・マスター研修会」が始まりました。
第1回目は「作業療法士の働きを知っていますか？」というテーマで当センターの宮永敬市所長がお話しました。作業療法士は本人が「したいこと」と「してみたいこと」を見出し、あらゆる角度から、その人を支える道具や技術、声かけなどに工夫を凝らし、目標達成を共に目指していく専門職だということがよく分かりました。【野澤】

とにかく暑い！体温と大差ない気温を体感する日が来るなんて！「今年は蚊に刺されないな」と思っていたら、蚊にも活動に適した温度があるようで、今は暑過ぎてお休みしているのだと新聞に書いてあった。少し涼しくなった時が怖い。毎日のトップニュースが、各地の信じられないような高温。人気の氷菓が、生産が追い付かずに次々と販売を中止。気をつけないと、ほったらかしておいた携帯電話でヤケドなんてことも・・・。日傘は効果大のようだが、外出時に荷物の多い私は、「ああ、腕が3本あったら・・・」なんてつまらないことをつぶやきながらそのまま直射日光を受け止めている。夏の終わりにまでに黒光りしちゃうかも！あーあ。

皆さん、もう聞き飽きたかもしれませんが、水分補給と室内でのクーラー利用、よろしくお願ひします。【な】

ゆのみゆのみ

